

『パッチギ!』(韓国語: 박치기)は2004年製作、2005年1月22日公開の日本映画。

2006年には韓国ソウルの明洞 CQN でも公開された。監督は井筒和幸。キネマ旬報ベストテン1位、毎日映画コンクール最優秀作品賞、ブルーリボン賞作品賞を受賞した。

タイトルの「パッチギ」は朝鮮語(韓国語)で「突き破る、乗り越える」ならびに「頭突き」の意。

2009年12月には山本裕典主演で舞台化された。舞台演出は茅野イサム(劇団扉座)が務め、映画版の監督だった井筒和幸は総合演出を務めた。

あらすじ

1968年。京都にある府立東高校2年生の松山康介は、常日頃から争い事の絶えない朝鮮高校(朝高)にサッカーの練習試合を申し込むことになった。康介と友達の紀男はしぶしぶ朝高を訪れるが、そこで康介は音楽室でフルートを奏でていた少女・キョンジャに一目惚れする。しかしあろうことかキョンジャの兄アンソンは同校の番長であった。どうしてもキョンジャと仲良くなりたい康介は韓国語を必死で習得すると同時に楽器店でギターを購入。キョンジャが演奏していた「イムジン河」(임진강/림진강)を覚え彼女の前で演奏することを決意する。

作品解説

京都における日本人の少年と在日コリアンの少女との間に芽生える恋を中心とした青春映画。

オール京都ロケで撮影された。京都の町並みはほとんどが撮影時の風景そのままの姿であり、CGで電線やアンテナ、ビル群などを消すことはほとんどなかったという[2]。エキストラには朝鮮総連協力の下、実際の在日朝鮮人が多数出演した。ただし、主要の演者で「韓国人」「朝鮮人」「在日」の人はほとんど起用されておらず、朝鮮語がかなり片言の日本語訛りである。そのため、単語のみで会話するシーンが多い。本作では日本社会とは完全に同化せず独立した共同体を築く在日韓国・朝鮮人の社会を描いている。

他方、主人公が恋をバネに朝鮮人への理解を深めるという作劇や、全編に「イムジン河」を流し、「あの素晴らしい愛をもう一度」をオリジナル形で映画主題歌に提供するなど音楽監督の加藤和彦が力を入れた音楽面の充実もヒットに貢献した。

キャスト

松山康介・塩谷瞬

リ・アンソン(李安成、이안성)・高岡蒼佑　　リ・キョンジャ(李慶子、리경자)・沢尻エリカ

坂崎・オダギリジョー: 康介にギターを教えた坂崎酒店の若旦那

桃子・楊原京子: アンソンの彼女　　チョン・ガンジャ(鄭康子、정강자)・真木よう子

チェドキ(재덕이、박재덕)・尾上寛之: アンソンの弟分

モトキ・バンホー・波岡一喜: アンソンの親友　　吉田紀男・小出恵介: 康介の同級生

大西・ケンドーコバヤシ: 空手部主将　　大阪ホープ会のリーダー・坂口拓

布川先生・光石研: 康介と紀男の担任　　野口ヒデト・加瀬亮: オックスのボーカル

金太郎・趙珉和: 密航者　　さなえ・余貴美子: 康介の母

大友・大友康平: ラジオ局のディレクター　　モトキのアボジ・前田吟　　チェドキの叔父・笹野高史